

事務事業名	一般廃棄物中間処理施設整備事業費										担当	部課名	環境部北部環境事業所			
予算科目コード	会計	01	款	05	項	02	目	02	細目	006	説明	01	課等の長	石倉 信行	電話	6457

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務		
事業概要	藤沢市焼却施設整備基本計画に基づき、北部環境事業所新2号炉の建設及び石名坂環境事業所の整備に向けて、準備を進める。						
事業目的及び必要性	廃棄物を円滑に処理するため、現行の2施設3炉体制を継続しつつ、老朽化した焼却施設の整備を進める必要がある。						
対象	1. 個人	市民				438,968 人	
根拠法令等	法律等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)							
まちづくりコンセプト				重点施策名			
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) 藤沢市焼却施設整備基本計画に基づき、本事業を実施することにより、2施設3炉体制を維持することができ、安定的で効率的なごみ処理を継続することができる。				都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
				指針体系コード			
				4-1-31			
2030年又は事業終了時の望ましい姿				その他の計画との関連			
近年ごみ処理施設は、従来型の適正処理だけでなく、エネルギー供給や災害対応等様々な役割を有する施設に位置付けられるようになってきた。 本市においても、2021年10月に策定した「藤沢市SDGs共創指針」の考え方を基本とし、今後も持続可能で安定的な廃棄物処理体制を維持し、効率的かつ効果的な廃棄物処理を継続する。				藤沢市焼却施設整備基本計画 石名坂環境事業所整備基本構想			
				貢献する主なSDGsのゴール			
				7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
				11	住み続けられるまちづくりを		
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
環境に配慮したゴミ処理がされていると感じますか？		3.86 点	3.70 点	3.78 点	3.63 点		
		点	点	点	点		

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	旅費	180 千円	県との調整、工場立会検査
	需用費	56 千円	消耗品費
	5,832,365 千円	役務費 122 千円	クローズドコンテナ装置点検手数料
		委託料 108,007 千円	藤沢市北部環境事業所新2号炉施工監理等委託等
	工事請負費 5,724,000 千円	藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事	
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	役務費	2,451 千円	クローズドコンテナ装置点検手数料、石名坂環境事業所土壌汚染事前調査
	3,963,310 千円	委託料 85,411 千円	藤沢市北部環境事業所新2号炉施工監理等委託等
		工事請負費 3,865,755 千円	藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事
		負担金補助及び交付金 9,599 千円	工事費負担金
	その他 94 千円	旅費、需用費	

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	4.10人工	4.50人工	4.05人工	4.13人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	0.00人工	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	0.00人工	0.00人工		
合計	4.10人工	4.50人工	4.05人工	4.13人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			0.00人	0.00人
---------------	--	--	-------	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	藤沢市焼却施設整備基本計画に基づき、焼却施設整備・運営事業を進めるため、北部環境事業所新2号炉の建設工事の進捗が図られた。 また、石名坂環境事業所の整備に向けて、石名坂環境事業所整備基本構想を策定した。						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果 目標	北部環境事業所新2号炉建設工事執行状況	%	5	21	42.4	84.6	
	石名坂環境事業所整備基本構想策定委託執行状況	%	-	-	30	100	
	-		-	-	-	-	
	参考						
活動 実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	-		-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	北部環境事業所新2号炉建設工事執行状況	%	5	21	42.4	84.6	
	石名坂環境事業所整備基本構想策定委託執行状況	%	-	-	41.49	100	
	-		-	-	-	-	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	214,644	1,018,701	878,913	5,863,268	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	210,406	1,017,457	880,288	5,865,437	
	事業費(支出済額)	170,897	973,722	839,528	5,832,365	
	償還金利息	0	0	25	190	
	人件費合計(①+②+③)	39,509	43,735	40,735	32,882	
	①常時勤務職員等の給与等	37,585	41,135	38,544	31,491	
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,924	2,600	2,191	1,392	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,238	1,244	-1,375	-2,169	
	①減価償却費	0	0	0	0	
	②退職給与引当金繰入額	4,238	1,244	-1,375	-2,169	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
	④その他()	0	0	0	0	
	行政収益(事業収入) B	170,877	972,616	838,904	5,832,007	
(3)現金を伴う収入 (千円)	170,877	972,616	838,904	5,832,007		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	17,572	147,029	160,065	2,118,082		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他(市債・繰入金)	153,305	825,587	678,839	3,713,925		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用) A-B E	43,767	46,085	40,009	31,261		
分析 指標	項目	北部環境事業所新2号炉建設工事 執行状況 F	5	21	42.4	84.6
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		42,928,800.00	48,509,571.43	20,729,080.19	69,305,768.99
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		101.95 429,317	106.42 433,060	91.95 435,121	71.21 438,968
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・北部環境事業所新2号炉建設工事を進めていく上で、引き続き、安全対策の徹底及び工事工程に基づいた適切な進捗管理が必要となる。 ・石名坂環境事業所整備基本構想の策定に当たっては、2施設3炉体制を維持する必要があることから、既設3号炉を稼働させながらの整備となるため、綿密な計画の策定が必要となる。
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・北部環境事業所新2号炉建設工事を進めるに当たり、工事請負業者と定例会等を適宜実施し、綿密な連絡・調整を図った。 ・委託業者との綿密な調整を図るとともに、関係各課とも情報共有を図りながら石名坂環境事業所整備基本構想を策定した。
(3) 令和3年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・北部環境事業所新2号炉建設工事を進めていく上で、引き続き、安全対策の徹底及び工事工程に基づいた適切な進捗管理が必要となる。また、試運転を実施するに当たり、ごみの受入量・搬入車両等の調整が必要となる。 ・石名坂環境事業所の大規模整備に向けて、石名坂環境事業所整備基本構想に基づき事業を進めていく必要がある。
(4) (3)解決のための今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・北部環境事業所新2号炉建設に係る工事請負業者と定例会等を適宜実施し、綿密な連絡・調整を図るとともに、試運転に向けて、関係各課と連絡調整を密に行う。 ・石名坂環境事業所の整備に当たり、生活環境影響調査等の事前調査を進めるとともに、実施設計に向けて関係各課と連絡・調整を図る。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<ul style="list-style-type: none"> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) ○ イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの ○ エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの) 	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<ul style="list-style-type: none"> ○ ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの ○ オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの 	
	③ 事業期間	<ul style="list-style-type: none"> ○ ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの ○ オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの 	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<ul style="list-style-type: none"> ○ ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 ○ オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<ul style="list-style-type: none"> ○ ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 ○ オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<ul style="list-style-type: none"> ○ ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 ○ オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
3. 施設等整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	廃棄物処理施設の老朽化、環境問題や市民ニーズの多様化、超高齢社会の進展に対応する分別の簡素化や負担軽減施策に対応するため、安定した廃棄物処理を継続するとともに、災害廃棄物処理能力を持つ強靱な施設整備が求められている。また、安定したごみ処理を継続していくため、現行の2施設3炉体制を維持しながら施設整備を進める必要がある。	
他市等の事例	・平塚市環境事業センター 平成22年4月着工、平成25年度稼働開始 ・高座清掃組合 平成27年7月着工、平成31年度稼働開始 ・茅ヶ崎市環境事業センター（基幹的設備改良工事） 平成29年度末竣工	
市民ニーズ	把握方法	・藤沢市廃棄物減量等推進審議会 2回開催 ・生活環境影響調査書の縦覧（近隣6市1町、市役所受付案内、市政情報コーナー、各市民センター及び公民館、環境総務課、石名坂環境事業所及び北部環境事業所）平成29年度実施 ・生活環境影響調査書についての市民説明会（男性4人女性2人計6人参加）平成29年度実施 ・藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事に伴う特定開発事業説明会 令和元年度実施
	把握内容	新2号炉稼働時の環境配慮について意見が出された。
	対応等	新2号炉稼働時の環境配慮については、炉頂温度など運転状況及び排ガスの発生状況を連続監視するほか、法令に基づく分析を行い、公害防止基準で定める各基準値及び維持管理基準値を遵守していくよう、従来どおり市職員が監視していく。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	北部環境事業所新2号炉の建設工事を継続し、工事工程に基づいた進捗管理が実施された。施工者、施工管理者各々の立場で関係部署と連携を図りながら令和3年度の設定出来高を達成している。 また、石名坂環境事業所の整備に向けて、「石名坂環境事業所整備基本構想」を策定した。	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 都市の機能と活力を高める
	事業の方向性	現状維持
	令和5年度の供用開始に向けて、北部環境事業所新2号炉の建設工事を進める。 また、石名坂環境事業所整備基本構想に基づき、関係課と連絡・調整を図りながら、実施設計・事前調査等の事業を確実に進める。	

9. 部長確認欄

部名	環境部	氏名	福室 祐子	確認日	2022/8/17
----	-----	----	-------	-----	-----------